



けんこう福袋



2021年
9月
第30号

Warm Pharmacy
LUCKY BAG
ぬくもりの薬局
ラッキーバッグ株式会社
〒996-0021 山形県新庄市常葉町1-32
TEL. 0233-29-8177

今日の
テーマ

薬剤師の仕事を見てみよう！ 処方監査、疑義照会

薬局は皆さんよく見かける身近なものだと思います。その薬局の中では処方せんを受け取り、お薬を準備するまでに色々なプロセスがあります。



今回は、病院から発行された処方せんに基づいて、どのような流れで薬局がお薬を準備するのか、その一部を皆さんにご紹介したいと思います。

▶ 処方せん受け取り後…

お薬を取りそろえる前に、処方せん内容を確認します。まずは、患者さま情報の不備（保険者番号、生年月日など）が無いかを確認します。

次に、お薬手帳や薬局で管理している患者さま個々の服用記録（併用薬、アレルギー歴など）から患者さまが安全に服用できる量なのか？飲み合わせなどに問題がないか？等を確認します。

特に小児科の患者さまの場合は年齢・体重などからも適正な量か？を判断します。

▶ もしも疑問点があったとき…

処方せんを発行した病院に問い合わせを行います。これを疑義照会と呼んでいます。



疑義照会とは患者さまに医薬品を適正に使用服用していただき、また健康被害を防ぐ点でも欠かせない薬剤師の重要な業務です。

疑義照会には病院、薬局間での連携に加えて、患者さまとの信頼関係におけるやり取りが不可欠です。少しでも不安な点や医師に相談し忘れたことなどがありましたら、気軽に薬局スタッフに相談してください。

ファミリー薬局（薬剤師） 壽 聖鴻

地域医療を支える 医療関係者の方々から一言

おれんじサポートチーム ころろ(山形市南)
認知症地域支援推進員 殿岡 玲子様

◆ 認知症地域支援推進員の活動について ◆

皆さんは、『認知症』と言うと、どのようなイメージを抱えますか…

今、認知症は、誰もがなり得る可能性がある、と言う事で多くの人の関心が高くなり、より身近なものとして『社会の病』と言われるまでになっています。



こうした中、国は『認知症の人を単に支えられる側と考えるのではなく、認知症になっても認知症とともに、住み慣れた地域で生活する事ができる社会を築く』と『認知症施策推進大綱』を取りまとめました。しかし、現実には、症状には段階があるのですが、認知症と言うと一括りで捉えられる事が多く、中々早期発見、早期対応に繋がらない事が多いように感じております。

私達は、全市町村に配置された地域づくりを行う支援機関です。これからは『備え』の考え方に変換して行く必要があると思います。当事者の方の声、家族の声、地域の方の声を少しでも多く聞かせて頂きながら、地域に合わせた支援を行うことが出来るよう共に歩んで行きたいと思っております。



やってみよう！



まちがいさがし

左右のイラストで違うところを

3カ所 見つけてください
(目標90秒)

間違い探しをすると集中力が鍛えられ、脳がすごく活性化されるそうです。頭の体操にぜひやってみてください。

答えは裏面！

